

**問 24 操縦時の法的順守事項**

①水上オートバイの航行制限について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) ローカルルールにより、航行が制限されている水域がある。
- (2) 都道府県条例により、乗り入れが制限されている水域がある。
- (3) 海上衝突予防法により、航行できる時間帯が制限されている水域がある。
- (4) 河川法に基づく規定により、通航方法が制限されている河川がある。

.....**答 (3)**

②ゲレンデのローカルルールについて述べた次の文の( )に当てはまる語句として最も適切なものは、下のうちどれか。

「ローカルルールとは、( )にだけ適用される、その土地独自の自主的な取決めのことである。」

- (1) 限定された水域 (2) 水上オートバイ (3) 遊泳区域 (4) 日没から日出の間

.....**答 (1)**

③水上オートバイを操縦する場合の法定遵守事項として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 一級小型船舶操縦士の免許が必要である。
- (2) 使用後の格納点検が義務付けられている。
- (3) 有資格者の自己操縦が義務付けられている。
- (4) 平水区域内のすべての水域を航行できる。

.....**答 (3)**

④水上オートバイを操縦する場合の法定遵守事項について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 特殊小型船舶操縦士の免許が必要である。
- (2) 有資格者の自己操縦が義務付けられている。
- (3) ライフジャケットの着用が義務付けられている。
- (4) 湖川及び海岸から5海里以内の水域が航行区域である。

.....**答 (4)**

⑤水上オートバイの航行区域について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 操縦免許証の裏面に記されている。
- (2) 母船に搭載された艇の場合は、母船から半径1海里以内の水域に限定される。
- (3) 水域を直接設定する場合と、任意の点からの航行範囲を設定する場合とがある。
- (4) 湖に限り、陸岸から2海里を超えた水域でも航行できる。

.....**答 (3)**

⑥水上オートバイを操縦する場合の法定遵守事項について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 操縦をしない同乗者も、ライフジャケットを着ることが義務付けられている。
- (2) 無資格者が操縦する場合は、有資格者の同乗が義務付けられている。
- (3) 特殊と二級の小型船舶操縦士の資格があれば、海岸から5海里までの水域を航行できる。
- (4) 防水型の懐中電灯を灯火として積み込めば、夜間航行ができる。

.....**答 (1)**

⑦水上オートバイに乗艇するときのライフジャケットの着用について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 乗艇者は全員着用する。(2) 操縦者以外は着用しなくてもよい。
- (3) 荒天になったら着用する。(4) 12歳未満の小児は着用しなくてもよい。

.....**答 (1)**

⑧特殊小型船舶操縦士の資格で航行できるのは、原則として海岸から何海里以内の水域か。次のうちから選べ。

- (1) 1海里 (2) 2海里 (3) 3海里 (4) 5海里

.....**答 (2)**

⑨母船に搭載された水上オートバイを操縦する場合に必要な免許は、次のうちどれか。

- (1) 一級小型船舶操縦士の免許 (2) 二級小型船舶操縦士の免許
- (3) 二級小型船舶操縦士(第一号限定)の免許 (4) 特殊小型船舶操縦士の免許

.....**答 (4)**

⑩水上オートバイの航行区域が記されているものは、次のうちどれか。

- (1) 船舶検査手帳 (2) 船舶検査証書 (3) 船舶検査済票 (4) 操縦免許証

.....答 (2)

⑪ある地域の海岸や河川の一部といった、限定された水域を安全に利用するための取決めや各種の制限事項は、何によって定められているか。次のうちから選べ。

- (1) 道路交通法 (2) 海上交通安全法 (3) 船舶安全法 (4) ローカルルール

.....答 (4)

⑫グレンデのローカルルールについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ある特定の水域にだけ適用される。  
(2) 一人乗りの水上オートバイにだけ適用される。  
(3) 航行禁止区域が設定されているところがある。  
(4) 安全で秩序ある水域利用を図るために設けられている。

.....答 (2)

⑬グレンデのローカルルールについて述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 安全で秩序ある水域利用を図るために設けられている。  
(2) 湖や川などの内水面にだけ適用されている。  
(3) 混乱を避けるため、全国どこでも共通のルールとなっている。  
(4) 水上オートバイにだけ適用されている。

.....答 (1)

⑭母船に搭載された水上オートバイの航行区域は、母船を中心にした半径何海里以内の水域か。次のうちから選べ。

- (1) 1 海里 (2) 2 海里 (3) 3 海里 (4) 5 海里

.....答 (2)

⑮水上オートバイを操縦する場合、船舶安全法及びこれに基づく命令により禁止されている事項は次のうちどれか。

- (1) 夜間航行 (2) 高速航行 (3) 連続航行 (4) 沿岸航行

.....答 (1)

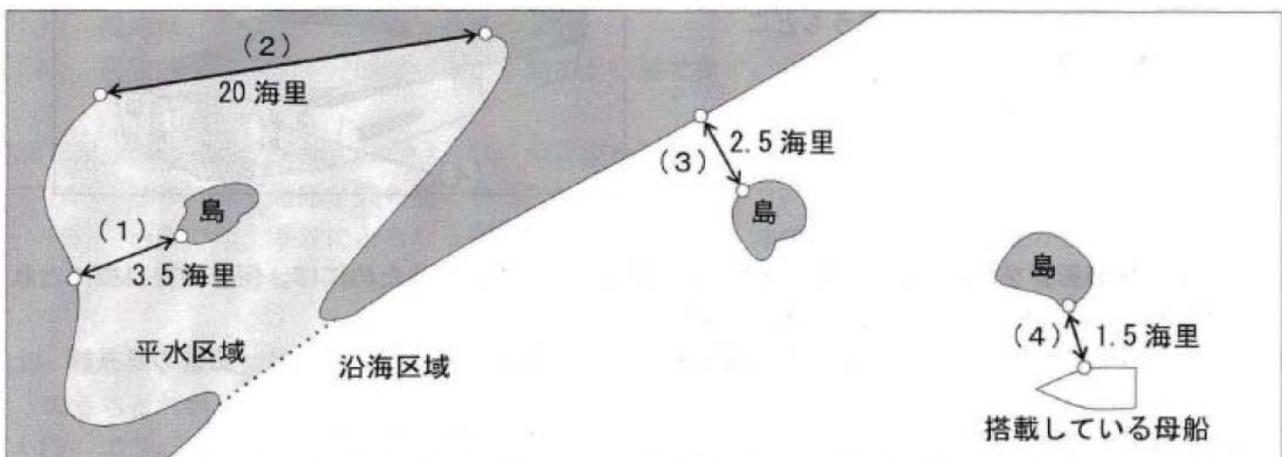
⑯水上オートバイを操縦する場合の法定遵守事項について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 操縦する場合には、特殊小型船舶操縦免許証を船内に備えおくことが義務付けられている。  
(2) 無資格者が操縦する場合には、免許受有者の同乗が義務付けられている。  
(3) 乗艇する者全員について、ライフジャケットの着用が義務付けられている。  
(4) 船舶検査証書に記されている航行区域内での航行が義務付けられている。

.....答 (2)

⑰下図に示す(1)～(4)のうち、航行区域の規定上、水上オートバイで2 地点間を航行してはならないものはどれか。

(船舶安全法)



.....答 (3)

⑩ゲレンデのローカルルールについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 航行区域がブイや旗で分けられている場合がある。
- (2) 徐行区域が設けられている場合がある。
- (3) 混乱を避けるため、全国どこでも共通のルールとなっている。
- (4) さまざまな利用者が同じ水域を安全に使用するために設けられている。

.....答 (3)

**問 25 水上オートバイの運動特性**

①水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) シフト機能がある機種は、後進を使うことで、高速状態から瞬時に止まることができる。
- (2) 船尾船底付近に突起物がないので、プロペラや舵板のある船に比べて浅い水域も走行できる。
- (3) 小型で軽い艇体に高出力のエンジンを積んでいるので、高速で走行することができる。
- (4) 針路変更は、スロットルとハンドルの操作と、体重移動を同時に使って行う。

.....答 (1)

②水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 一般のモーターボートに比べて水深の浅い所を走行できる。
- (2) 小型で軽く、しかも高出力なので、加速がよく、高速走行ができる。
- (3) プレーキがなくても、水の抵抗で速力を落としたり行きあしを止めることができる。
- (4) 転覆しても、キルスイッチコードを再びセットすると自動的に復元できる。

.....答 (4)

③水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) エンジンを始動すると、スロットルレバーを離してもジェットノズルから水流が出る。
- (2) 高速走行中にスロットルを完全に閉じてしまうと、ハンドルバーを操作しても急旋回できない。
- (3) 船尾船底付近に突起物がないので、プロペラや舵板のある船に比べて浅い水域も走行できる。
- (4) ジェット噴流の向きを変えて方向転換するので、舵板の付いている船に比べて旋回性能が低い。

.....答 (4)

④水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 艇体が水底に着かない場所であれば、どこでも走ることができる。
- (2) ある程度の推進力がなければ、進行方向を自由に変えることができない。
- (3) 航行中にエンジンを停止しても、すぐには止まれないことがある。
- (4) 転覆しても、操縦者が自力で復元させて再び走り出すことができる。

.....答 (1)

⑤水上オートバイの運動特性について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 転覆することを前提に設計されているため、転覆しても人力で復元することができる。
- (B) 推進力となるジェット噴流の向きを直接変えて方向転換するため、効率的で旋回性能が高い。
- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑥水上オートバイが、一般のモーターボートやヨットに比べて水深の浅いところを走特できる理由として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 高出力ですぐに滑走できるため (2) 最大搭載人員が少ないため
- (3) 船底に突起物がなく平らなため (4) 沈まない構造で浮力が大きいため

.....答 (3)

⑦走行中の水上オートバイを停止させる方法として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 急旋回させて遠心力で停止する。 (2) 風の抵抗を利用して停止する。
- (3) インペラを逆転させて停止する。 (4) 水の抵抗を利用して停止する。

.....答 (4)

⑧水上オートバイの運動特性について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

(A) 旋回時に体重を移動することで遠心力とのバランスを取り、なめらかに旋回できる。

(B) 旋回方向に体重移動することで艇体が内側に傾き、抵抗が増えて小さな径で旋回できる。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑨走行中の水上オートバイは、体重移動を行うことで何を向上させることができるか。次のうちから最も適当なものを選び。

(1) 燃費効率 (2) 乗り心地 (3) 旋回性能 (4) エンジンの耐久性

.....答 (3)

⑩水上オートバイの一般的な運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

(1) 小型で軽い艇体に高出力のエンジンを積んでいるので、高速で走行することができる。

(2) 進行方向の変更は、スロットル、ハンドルの操作及び体重移動を同時に使って行う。

(3) 後進は、ジェット噴流の向きを反転しているだけなので、旋回性能はよくない。

(4) エンジンを始動しても、緊急エンジン停止コードの一端を身体に装着しないと走行できない。

.....答 (4)

⑪水上オートバイの特性について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として最も適切なものは、下のうちどれか。

「転覆しても沈まないように設計されているが、エンジンの電気系統が水につかると、最悪の場合、( )できなくなるので、転覆したときはすみやかに引き起こす。」

(1) 復原 (2) 排水 (3) 始動 (4) 停止

.....答 (3)

⑫水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

(1) エンジンが小さいので、加速が悪い。

(2) 推進力がなくても簡単に進行方向を変えることができる。

(3) 転覆しても簡単に引き起こすことができる。

(4) 一般のモーターボートに比べ、水深の浅い所は走行できない。

.....答 (3)

⑬水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

(1) ジェット噴流の向きを変えることで、後進でも高速で航行することができる。

(2) ある程度の推進力がなければ、進行方向を自由に変えることができない。

(3) 走行中にエンジンを停止しても、惰力のためすぐには止まることができない。

(4) 転覆しても、操縦者が自力で引き起こして再び走り出すことができる。

.....答 (1)

⑭水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

(1) ジェットインテークからゴミを吸い込むと、走行できなくなることがある。

(2) 走行中にエンジンを停止しても、惰力のためすぐには止まることができない。

(3) ジェット噴流の向きを変えることで艇体の向きを変えるため、旋回性能が高い。

(4) 推進力がなくても、惰力があれば簡単に進行方向を変えることができる。

.....答 (4)

⑮水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

(1) 一般のモーターボートに比べ、水深の浅い所を走行することができる。

(2) 万が一転覆したとしても、人力で簡単に引き起こすことができる。

(3) ブレーキがなくても、水の抵抗で速力を落とすことができる。

(4) 推進力がなくても、風を受けて動いていれば自由に方向転換できる。

.....答 (4)

⑩水上オートバイの運動特性について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

(A) 加速性がよく、素早く滑走状態になり、高速で走行することができる。

(B) 船尾に舵が付いていないので、舵のある船に比べて旋回性能が低い。

(1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (1)

⑪水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

(1) エンジンを始動すると、スロットルレバーを離してもジェットノズルから水流が出る。

(2) 高速走行中にスロットルレバーを離してしまうと、ハンドルバーを操作しても急旋回できない。

(3) 船底に突起物がないので、プロペラや舵のある船に比べて浅い水域も走行できる。

(4) ジェット噴流の向きを変えて方向転換するので、舵の付いている船に比べて旋回性能が低い。

.....答 (4)

⑫水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

(1) ジェット噴流の向きを変えることで、後進でも高速で航行することができる。

(2) ある程度の推進力がないと、進行方向を自由に換えることができない。

(3) 走行中にエンジンを停止しても、惰力のためすぐには止まることができない。

(4) 転覆しても、操縦者が自力で引き起こして再び走り出すことができる。

.....答 (1)

**問 26 水上オートバイの構造**

①次の文に該当する水上オートバイの装置は、下のうちどれか。

「ここにプレートなどをセットすることにより、エンジンが始動できる状態になる。走行中、転落などでここからプレートが外れると、瞬時にエンジンを停止させる。」

(1) ストップボタン (2) キルスイッチ (3) スタートボタン (4) グリップハンドル

.....答 (2)

②ジェットインテークから吸い込む水の使用目的として適切なものは、次のうちどれか。

(1) エンジンの潤滑と冷却 (2) エンジンの冷却と艇体の推進

(3) エンジンの冷却と洗浄 (4) エンジンの潤滑と艇体の推進

.....答 (2)

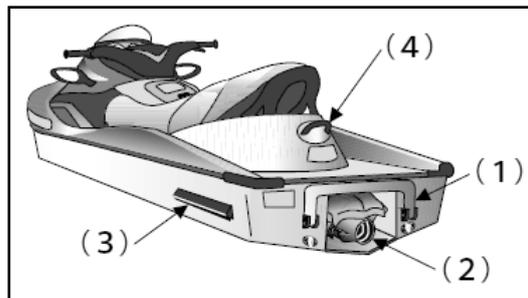
③右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。図中(1)～(4)の名称として適切でないものは、次のうちどれか。

(1) ボーディングステップ

(2) ジェットノズル

(3) スポンソン

(4) パウアイ



.....答 (4)

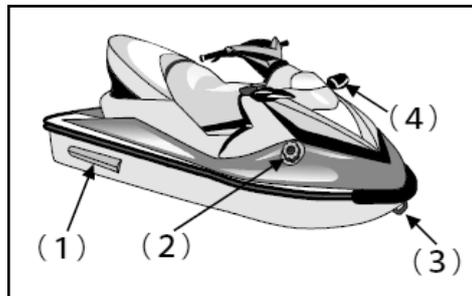
④右図は、水上オートバイを斜め前方から見た略図である。図中(1)～(4)の役割として適切でないものは、次のうちどれか。

(1) 旋回時の操縦安定性を高める。

(2) エンジンの冷却水を注入する。

(3) 係船ロープや曳航ロープをつなぐ。

(4) 走行中に後方の安全を確認する。



.....答 (2)

⑤艇体各部の名称とその役割について示した次の組合せのうち、適切でないものはどれか。

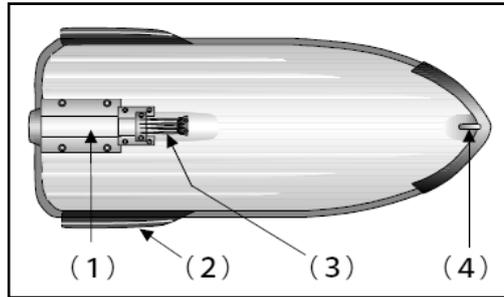
- (1) パウアイ……………係留ロープをつないだり、曳航される場合に曳航ロープをつなぐ。
- (2) リバースゲート……ジェットノズルをふさいで、エンジンを停止させる。
- (3) 冷却水点検孔……エンジン始動後、冷却水の循環状態を確認する。
- (4) ドレンプラグ……………陸揚げしたときに、エンジンルームにたまった水を艇外に排出する。

……………答 (2)

⑥右図は、水上オートバイを船底から見た略図である。

図中(1)～(4)の名称として誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) ジェットノズル
- (2) スポンソン
- (3) ジェットインテーク
- (4) パウアイ



……………答 (1)

⑦水上オートバイの構造上の特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) エンジンルーム内が水で満たされても、沈まないような構造になっている。
- (2) クラッチがないので、エンジンを始動すると同時に水流を噴射し始める。
- (3) 後方へ噴射する水の方向を左右に変えることで艇体の向きを変えている。
- (4) 船尾から吸い込んだ水を勢いよく船底から噴射することで推進力を得ている。

……………答 (4)

⑧後進機能が付いた水上オートバイのシフト操作について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ハンドルを切っても旋回できないような狭い場所で、方向転換をする場合に使用する。
- (2) エンジン始動時に、噴流の方向を変えて急発進を防止するために使用する。
- (3) 高速走行中、他船との衝突の危険が迫った場合に、緊急停止するために使用する。
- (4) 栈橋に着岸するときや、砂浜に着けるときに、行きあしを調節するために使用する。

……………答 (3)

⑨ジェットポンプ内のインペラについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 回転することにより、推進用と冷却用の水を吸い込む。
- (2) 垂鉛で作られていて、ドライブシャフトの電食を防ぐ。
- (3) クラッチがないので、エンジンの運転中は常に回転している。
- (4) ゴミやロープがからむと、エンジンが停止する原因となる。

……………答 (2)

⑩水上オートバイの推進力となる水の流れについて述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として最も適切なものは、下のうちどれか。

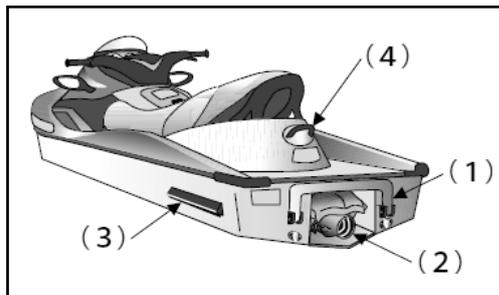
「ジェットインテークから吸い込んだ水を、ジェットポンプ内の( )で加速し、整流器を通してジェットノズルから噴出する。」

- (1) シフトレバー (2) ドライブシャフト (3) リバースゲート (4) インペラ

……………答 (4)

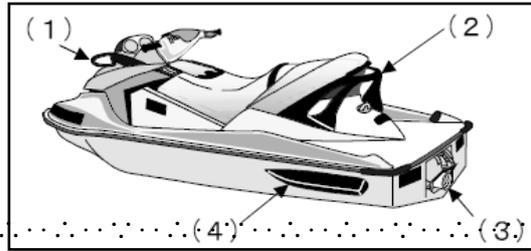
⑪右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。図中(1)～(4)の名称として誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) リボーステップ
- (2) ジェットインテーク
- (3) スポンソン
- (4) スターンアイ



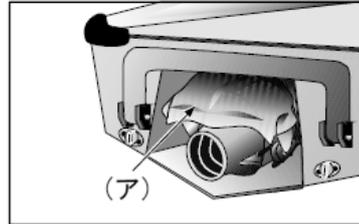
……………答 (2)

⑫右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。図中(1)～(4)のうち、ハンドルバーと連動しているものはどれか。



.....答 (3)

⑬右図は、艇体の船尾部分を拡大した略図である。図中(ア)の役割は次のうちどれか。



- (1) 滑走時の直進性を高める。
- (2) ジェット噴流の向きを船首方向に変える。
- (3) 旋回時の操縦安定性を高める。
- (4) 水中から乗艇するときの補助となる。

.....答 (2)

⑭次の文に該当する艇体の箇所は、下のうちどれか。

「水上に降ろす前にしっかり締めておかないと、エンジンルームに水が入って走行ができなくなるおそれがある。また、陸揚げしたときには開放して、エンジンルーム内に入った水を排出する。」

- (1) 冷却水点検孔
- (2) ジェットノズル
- (3) ドレンプラグ
- (4) ジェットインテーク

.....答 (3)

⑮ジェット噴流の方向を反転させるためのリバースゲートの操作は、何という装置によって行つか。次のうちから選べ。

- (1) シフトレバー
- (2) ハンドルバー
- (3) チョークノブ
- (4) スロットルレバー

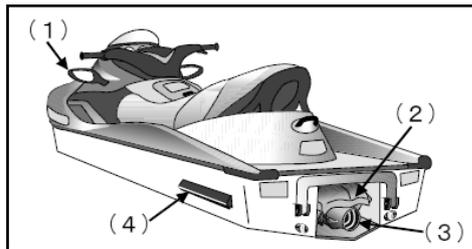
.....答 (1)

⑯艇体各部の名称とその役割について示した次の組合せのうち、誤っているものはどれか。

- (1) ハンドルバー ……連動するステアリングノズルの向きを変える。
- (2) ジェットインテーク ……推進力を得るためのジェット噴流を噴射する。
- (3) スロットルレバー ……指で押し(引い)て、エンジンの回転数を調整する。
- (4) 緊急エンジン停止スイッチ ……落水などの緊急時に、エンジンを瞬時に停止させる。

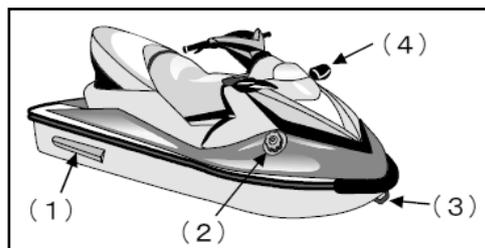
.....答 (2)

⑰右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。図中(1)～(4)のうち、シフトレバーと連動しているものはどれか。



.....答 (2)

⑱右図は、水上オートバイを斜め前方から見た略図である。図中(1)～(4)の名称として誤っているものは、次のうちどれか。



- (1) スポンソン
- (2) 燃料タンクキャップ
- (3) パウアイ
- (4) スロットルレバー

.....答 (4)

**問 27 操縦の基本**

①操縦時の基本操作について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) まわりに遊泳者がいないか、近づいてくる船がないかどうかを確認した後、発進させるようにする。
- (B) スロットルレバーの操作はゆっくりとなめらかにいき、急加速や急減速をしないようにする。

(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

②旋回や増減速の基本操作について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 高速時の旋回は、ハンドル操作だけで行う。
- (2) 低速時の旋回は、体重移動だけで行う。
- (3) 高速からの減速は、スロットルレバーとシフトを同時に操作して行う。
- (4) 低速からの増速は、スロットルレバーを少しずつ操作して行う。

.....答 (4)

③シッティングタイプの上水オートバイに乗り込む場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 操縦前に、ストレッチなどの準備運動をしておく。
- (2) 桟橋から乗る場合は、ハンドルを持って静かに乗り込む。
- (3) 同乗者を乗せる場合は、先に操縦者が乗ってバランスを取る。
- (4) 砂浜では、足首が水につかる程度の深さの所から乗り込む。

.....答 (4)

④シッティングタイプの上水オートバイに乗り降りする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 桟橋に着けた場合は、係留ロープを持って降りる。
- (2) 同乗者がいる場合は、先に同乗者を降ろしてから、操縦者が降りる。
- (3) 砂浜での乗り降りは、腰がつかる程度の水深の場所で行う。
- (4) 水中での乗り降りは、必ずエンジンをかけた状態で行う。

.....答 (4)

⑤シッティングタイプの上水オートバイに乗艇する要領について述べた次の文のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 桟橋に横付けされている場合は、側方から乗る。
- (2) 足が着く深さの水中では、後部から乗る。
- (3) 足が着く深さの水中では、操縦者が先に乗り、その後同乗者が乗る。
- (4) 足が着かない深さの水中では、操縦者と同乗者が左右から同時に乗る。

.....答 (4)

⑥水中からシッティングタイプの上水オートバイへ乗艇する要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) リボーディングステップがある場合は、これを利用して乗艇する。
- (2) 水深の深いところでは後部から乗艇する。
- (3) エンジンが確実に停止していることを確認してから乗艇する。
- (4) 水深の浅いところでは前部から乗艇する。

.....答 (4)

⑦水上オートバイに乗艇する場合の注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 全身を使って操縦するので、乗艇前にストレッチなどの準備運動を行い、十分に体をほぐしておく。
- (B) 砂浜での乗艇は、船底から砂や小石を吸い込まないように、腰がつかる程度の水深がある所で行う。

(1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑧同乗者を乗り降りさせる場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 操縦者が先に乗った後、同乗者を乗せる。
- (2) 同乗者が乗るときには、一緒にバランスを取り合う。
- (3) 同乗者が完全に乗ったことを確認してから、エンジンを始動する。
- (4) 操縦者が先に降り、同乗者を降ろしてから、エンジンを停止する。

.....答 (4)

⑨旋回方法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 低速時には、ハンドル操作は行わず、体重移動だけで旋回する。
- (B) 高速時には、体重移動を行いつつ、スロットルとハンドルを操作して旋回する。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (2)

⑩シッティングタイプ的水上オートバイに、水中から操縦者と同乗者が乗艇する場合の要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) エンジンを停止した状態で乗艇する。
- (2) 同乗者は水中で艇体を支え、操縦者が乗艇しやすいようにする。
- (3) 操縦者は艇体前部から乗艇し、同乗者は艇体後部から乗艇する。
- (4) 乗艇するときには、お互いにバランスを取り合う。

.....答 (3)

⑪シッティングタイプの水陸両用オートバイの操縦姿勢について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 通常走行時は、ひじを軽く曲げて肩の力を抜き、内またでシートをはさむようにする。
- (B) 波が高い場合は、大きく前かがみの姿勢をとり、ひじで衝撃を吸収するようにする。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (1)

⑫シッティングタイプの水陸両用オートバイを砂浜から発進させる場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 乗艇する場合には、バランスを取って側面から乗るようにする。
- (2) エンジンを始動する前に、艇体を数回揺すって砂などを落とす。
- (3) 乗艇すると不安定になるので、あらかじめエンジンを始動しておく。
- (4) 足首が水につかる程度の深さのところから、発進させるようにする。

.....答 (2)

⑬シッティングタイプの水陸両用オートバイでの操縦姿勢について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 両手でハンドルを握り、両足をフットレストに乗せる。
- (2) ひじを少し上げて軽く曲げ、肩の力を抜くようにする。
- (3) 内またを思い切り開いて、両足でふんばるように座る。
- (4) ハンドルバーの高さが調節できるものは、最適な位置に合わせる。

.....答 (3)

⑭操縦要領について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 高速から速力を落とすときは、スロットルレバーを戻すと同時にシフトを後進に入れて水の抵抗を増加させる。
- (B) 高速で旋回するときは、ハンドルを旋回方向に切りながら、旋回方向に体重を移動させ、スロットルをなめらかに操作する。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (2)

問 28 危険回避・転覆復元の方法

① 転覆した水上オートバイを復元する方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 再始動できなくなることがあるので、エンジンは停止しないで行う。
- (2) 波があるときは、波を利用して引き起こすと、簡単に復元できる場合がある。
- (3) 復元するときは、片舷側<sup>かたげん</sup>を沈めるように押し下げて回転させる。
- (4) 復元するときの回転方向が艇体に表示してある場合は、その表示に従う。

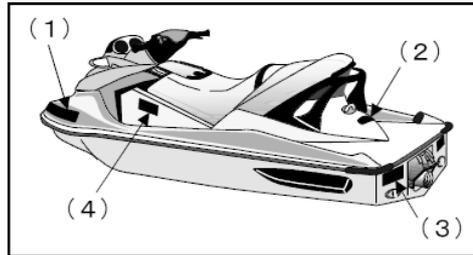
..... 答 (1)

② 転覆した水上オートバイを復元する要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 沖であわてないように、比較的浅いところで復原要領を練習しておく。
- (2) 船尾部分に警告ラベルがあれば、そのラベルに表示されている方向に復元する。
- (3) ジェットインテークをつかむ場合は、指をはさまないように十分注意して復元する。
- (4) オーバーヒートを防ぐため、エンジンをアイドリング状態にして復元する。

..... 答 (4)

③ 右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。転覆した水上オートバイを引き起こす場合の回転方向を記載したステッカーは、一般的にどの位置にはられているか。図中(1)～(4)のうちから選べ。



..... 答 (3)

④ 転覆した水上オートバイを復元する方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) エンジンを停止し、緊急エンジン停止コードを外した後に復元する。
- (2) 波がある場合は、波を利用して引き起こすと少ない力で復元できる。
- (3) 艇体底部によじ登って立ち、左右に体重をかけて揺らしながら反動で復元する。
- (4) 沖であわてないように、浅いところで練習し、復元できるようにしておく。

..... 答 (3)

⑤ 走行中の旋回方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 低速時は安定が悪いので、旋回方向に倒れそうになったら、スロットルを少し開けて立て直す。
- (2) 旋回時は、ハンドルを旋回方向の反対側に切りながら、内側に体重を移動する。
- (3) 旋回後、目的の方向に向く少し手前から少しずつハンドルと操縦姿勢を元に戻す。
- (4) 高速走行中に旋回する場合は、旋回径を大きくするか、速力を落とす。

..... 答 (2)

⑥ 転覆した水上オートバイを復元する方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 再始動がすぐにできるように、緊急エンジン停止スイッチをセットした状態で復元する。
- (2) ガンネルに足をかけ、片舷側<sup>かたげん</sup>に体重をかけて押し下げながら復元する。
- (3) 艇体に復元時の回転方向が表示してある場合は、その表示に従って行う。
- (4) 復元した後はしばらく中高速で走行し、エンジンルーム内のビルジを排出する。

..... 答 (1)

⑦ 転覆した水上オートバイを復元する(引き起こす)方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 緊急エンジン停止コードを外し、エンジンが停止していることを確認する。
- (2) 水上オートバイの船尾側、または押し下げようとする舷側<sup>げん</sup>まで泳ぐ。
- (3) ガンネルに足をかけ、片舷側<sup>かたげん</sup>に体重をかけて押し下げながら引き起こす。
- (4) 回転させる方向が指定されていても、そのときに引き起こしやすい方向で行う。

..... 答 (4)

⑧走行中、前方のすぐ近くに発見した浮遊物を避ける場合の操縦について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 直ちにハンドルを操作し、スロットルを開けて加速しながら旋回する。
- (2) 浮遊物が小さいときは、スロットルレバーを戻して減速しながらハンドルを操作する。
- (3) 旋回性能を高めるため、ハンドル操作と同時に体重移動を行う。
- (4) 高速走行中のため旋回が急角度になるときは、落水しないよう注意する。

.....答 (2)

⑨走行中、前方に浮遊物を発見した場合、これを避ける方法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判定し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) スロットルを聞け、加速しながらハンドル操作と体重移動を同時に行って避ける。
- (B) 周りの安全確認を行っている危険なので、浮遊物だけを見ながら避ける。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (1)

⑩走行中、前方のすぐ近くに浮遊物を発見してとっさにこれを避ける場合には、どのように操縦するのが最も適切か。次のうちから選べ。

- (1) エンジンを停止すると同時に体重を移動する。
- (2) エンジンを停止すると同時にハンドルを操作する。
- (3) ハンドルを操作すると同時に身体を起こして減速する。
- (4) ハンドルを操作すると同時に体重移動しながら加速する。

.....答 (4)

⑪走行中、船首のすぐ近くに障害物を発見した場合、とっさにこれを避けるための方法について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) エンジンを停止し、ハンドルを切って避ける。
- (2) エンジンを停止し、体重をどちらか一方にかけて避ける。
- (3) スロットルレバーを戻し、減速しながらハンドルを切って避ける。
- (4) ハンドルを切ってスロットルを開け、加速しながら避ける。

.....答 (4)

⑫走行中、船首前方に浮遊物を発見した場合、とっさにこれを避けるためには、直ちにハンドルとスロットルをどのように操作するのが最も適切か。次のうちから選べ。

- (ハンドル) (スロットル) (ハンドル) (スロットル)
- (1) そのまま ..... 開ける(加速) (2) 切 る ..... 閉じる(減速)
- (3) そのまま ..... 閉じる(減速) (4) 切 る ..... 開ける(加速)

.....答 (4)

⑬転覆した水上オートバイを復原する(引き起こす)方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 艇体に引き起こすときの回転方向が表示してある場合は、その表示に従って回転させる。
- (2) インテークグリルに手をはさんだり、艇の下敷きにならないように注意する。
- (3) エンジンが停止していないときは、必ずエンジンを止めてから引き起こす。
- (4) 引き起こした後は再始動ができなくなるおそれがあるので、引き起こす直前にエンジンを始動する。

.....答 (4)

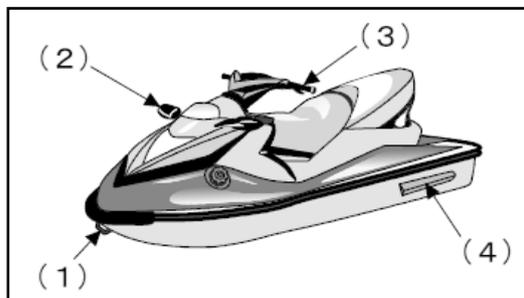
**問 29 荒天時の操縦・曳航時の注意事項**

①エンジントラブルを起こした他の水上オートバイを曳航する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 速力を落としても追突されないよう、ロープの長さに気をつける。
- (2) 曳航される水上オートバイには誰も乗せずに、できるだけ軽くする。
- (3) 曳航中はロープや引いている艇の状態を確認するため、航法の見張りに集中する。
- (4) 低速では引いている艇が転覆するおそれがあるので、できるだけ高速で曳航する。

.....答 (1)

②右図は、水上オートバイを斜め前方から見た略図である。緊急時に他の船舶に曳航される場合、曳航ロープは图中(1)～(4)のうちどこに結ばよいか。



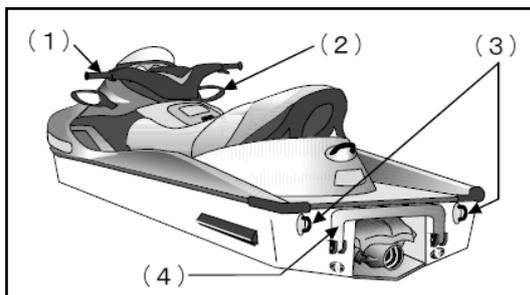
.....答 (1)

③他の水上オートバイの曳航を始める場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 曳航ロープは、自船のスターンアイに結ぶようにする。
- (2) 転覆しないように、できるだけ高速で引き始めるようにする。
- (3) 曳航ロープがジェットインテークに吸い込まれないように注意する。
- (4) 後方ばかりを見て、周囲の安全確認がおろそかにならないように注意する。

.....答 (2)

④右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。緊急時に他の船舶を曳航する場合、曳航ロープは图中(1)～(4)のうちどこに結ばよいか。



.....答 (3)

⑤ウェイクボードをトーイングする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) トーイングロープをジェットインテークに吸い込むと、走行できなくなることがある。
- (2) 発進時、トーイングロープがボーダーの手足にからまっていないことを確認する。
- (3) 操縦者は、ボーダーの安全確保のため、バックミラーから目を離さないようにする。
- (4) 操縦者は、障害物を見つけた場合や旋回する場合には、ボーダーに合図を送る。

.....答 (3)

⑥ウェイクボードをトーイングする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) トーイングロープをジェットインテークから吸い込まないように注意する。
- (2) 発進時、トーイングロープがプレーヤー(引かれる者)の手足にからまっていないか確認する。
- (3) 速力ができるように、プレーヤーを見張るための同乗者は乗せないようにする。
- (4) トーイング終了時は、プレーヤーとの安全な距離を保つため少しずつ速力を落とす。

.....答 (3)

⑦ウェイクボードをトーイングする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 左右にトーイングロープの長さ以上の十分な広さのある水域で行う。
- (2) 発進時、トーイングロープがボーダーの手足にからまっていないことを確認する。
- (3) 操縦者は、安全確保のため、前方に障害物がないかどうかを確認することにだけ意識を集中する。
- (4) トーイング中は、操縦者とボーダーの間で決めた合図により意思を伝える。

.....答 (3)

⑧やむを得ず荒天時に走行する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 波間で艇体がはね上がることのないように、速力を調整しながら波を越える。
- (2) 波の大きさにかかわらず、針路を変更する場合には大幅に一気に行う。
- (3) 追い波を受ける場合には、波の背面につかまるように速力を調整する。
- (4) ひじやひざを柔軟に使い、できるだけ衝撃を吸収できる姿勢をとる。

.....答 (2)

⑨ウェイクボードや水上スキーをトーイングする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 河川にはトーイングに関する条例や規制があるので、できるだけ湖で行うようにする。
- (2) トーイングロープの2倍以上の横間隔が必要となるので、広い水域で行うようにする。
- (3) トーイングロープをジェットインテークに吸い込むと、走行できなくなることがある。
- (4) スキーヤーやボーダーの動きを監視するため、専属の見張り役を乗せるようにする。

.....答 (1)

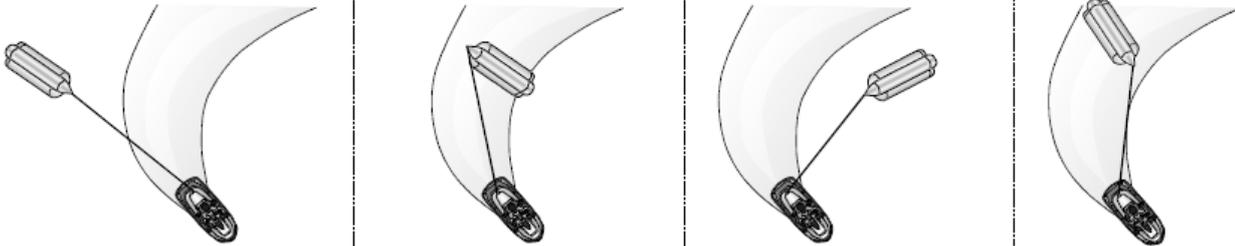
⑩他の水上オートバイを曳航する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 曳航される水上オートバイが転覆しないように、人を乗せて曳航する。
- (2) 曳航ロープが短いと、速力を落としたときに追突されることがある。
- (3) 曳航ロープが張りすぎないように、状況に応じた速力調整をする。
- (4) いつでも曳航ロープを放せるように、ハンドルバーにロープを結ぶ。

.....答 (4)

⑪バナナボートなどの遊具をトーイング中、高速で旋回したときの遊具の動きとして正しいものは、下図(1)～(4)のうちどれか。

- (1) 外側に振られる
- (2) 反転する
- (3) 内側に振られる
- (4) 平行に進む



.....答 (1)

⑫やむを得ず荒天時に走行する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 転覆すると、波にもまれて引き起こせない場合がある。
- (2) 落水したときは、水上オートバイから離れないようにする。
- (3) できるだけ斜め船尾方向から波を受けるようにする。
- (4) 落水した場合は、乗艇後できるだけ早く再始動する。

.....答 (3)

⑬波の高い日に走行する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 砂浜から乗り降りするときは押し寄せる波に注意し、危険を感じたら出航を中止する。
- (2) 波間で艇体がはね上がると、着水時に胸やあごをハンドルにぶつけることがあるので注意する。
- (3) 速力を落としすぎると不安定になって転覆するおそれがあるので、速力調整に注意する。
- (4) 船尾方向から波を受けて走行するときは、できるだけ波の下り斜面に位置するようにする。

.....答 (4)

⑭バナナボートなどの遊具をトーイングする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 水上スキーなどと違い、引かれている者が遊具を思いどおりに操作できない。
- (2) 低速で旋回すると遊具が転覆しやすいので、できるだけ高速で旋回する。
- (3) 遊具に乗っている者には、ライフジャケットや頭部の保護具を着用させる。
- (4) 波を越えるときは強い衝撃を受けるので、適切な速力に調整する。

.....答 (2)

⑮ウェイクボードをトーイングする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) トーイング中は、操縦者とプレーヤー(引かれる者)の間で決めた合図により意思を伝え合う。
- (2) 発進時、トーイングロープがプレーヤーの手足にからまっていないことを確認する。
- (3) 操縦者は、前方に障害物がないかどうかを確認することにだけ意識を集中する。
- (4) コースの左右にトーイングロープの長さ以上の十分な広さのある水域で行う。

.....答 (3)

⑯他の水上オートバイを曳航するときの注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 曳航ロープは、自船のスターンアイに結ぶようにする。
- (2) 転覆しないように、できるだけ高速で引き始めるようにする。
- (3) 曳航ロープをジェットインテークから吸い込まないように注意する。
- (4) 後方ばかりを見て、周囲の安全確認がおろそかにならないように注意する。

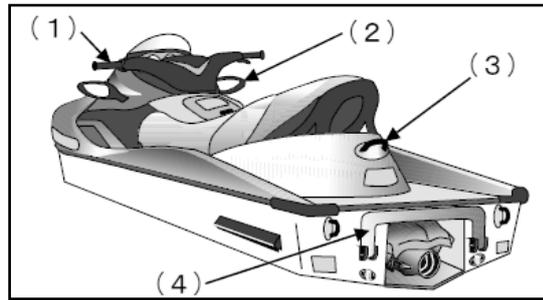
.....答 (2)

⑰乗艇中の水上オートバイがエンジントラブルを起こし、他の水上オートバイに曳航される場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 必ず一人が乗艇し、バランスを取りながら引かれるようにする。
- (2) 曳航ロープを自艇のスターンアイに結び、船尾側から引かれるようにする。
- (3) シートを取り外して引く側に預け、できるだけ艇体を軽くするようにする。
- (4) エンジンがかかっていないので、排水のためにドレンプラグを外すようにする。

.....答 (1)

⑱右図は、水上オートバイを斜め後方から見た略図である。バナナボートなどの遊具をトーイングする場合、曳航ロープは图中的(1)～(4)のうちどこに結べばよいか。

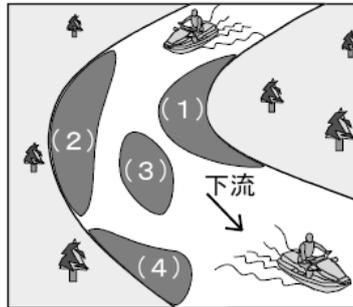


.....答 (3)

**問30 沿岸・湖川における航法**

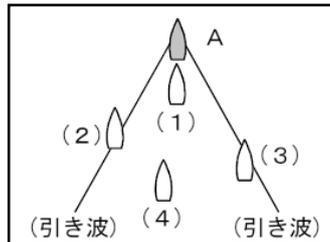
①右図に示すように前川がわん曲しているところでは、一般的にどの部分が浅いとされているか。図中に ■ で示した(ア)～(エ)のうちから選べ。

- (1) (ア)
- (2) (イ)
- (3) (ウ)
- (4) (エ)



.....答 (1)

②右図に示すように、走行中の水上オートバイAを追走するときは、図中(1)～(4)のうち、どのあたりに位置して走行するのが適当か。



.....答 (4)

③複数の水上オートバイでツーリングをする場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 先行する艇は、まわりよりも後ろの艇の動きに気をつけて走行する。
- (2) 後ろの艇は、引き波の影響を受けないように、前の艇のすぐ真後ろを走行する。
- (3) 先行する艇は、針路や速力を変更するときは、後ろの艇に分かるように合図を送る。
- (4) 後ろの艇は、周囲の安全確認は先頭の艇にまかせて、隊列を乱さないことに集中する。

.....答 (3)

④複数の水上オートバイでツーリングをする場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 走行ルートの水域調査は、陸上の道路地図なども活用してできるだけ詳しく行う。
- (2) 陸岸に近い水域を走行する場合でも、念のため予備燃料を準備する。
- (3) 先行する艇を追走するときは、前の艇との間隔をあけず、すぐ後ろを走行する。
- (4) 先行する艇が針路や速力を変更する場合は、後ろの艇に分かるように合図を送る。

.....答 (3)

⑤走行時の一般的な注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) できるだけ遠くの目標を選び、これに向かって走行する。
- (2) 前方に2つの重なる物標があれば、それを目標として利用する。
- (3) まわりに障害物がないことを確認してから変針する。
- (4) 変針するときは、一気にハンドルを切り、素早く新しい針路に乗せる。

.....答 (4)

⑥河川を走行する場合の一般的な注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 流れに乗って走行すると保針しにくい。
- (2) 河口付近は、潮の干満の影響を受ける。
- (3) 川幅が広がると、急に流速が上がる。
- (4) 河口では、不規則な波が発生しやすい。

.....答 (3)

⑦波や風の影響を受けやすい水域で一定の針路を保って走行するためには、何を目標にとればよいか。次のうちから最も適したものを選べ。

- (1) 1 物標の方位線
- (2) 2 物標の重視線
- (3) 前方の海岸線
- (4) 船首の延長線

.....答 (2)

⑧河川を走行する場合の一般的な注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) ダムの放水や大雨によって流れが急に変わることがあるので、水位の変化に注意して航行する。
  - (B) 大雨の後には流木やゴミが多くなることがあるので、これらにぶつかったり吸い込んだりしないよう注意して航行する。
- (1) (A)だけ正しい
  - (2) (B)だけ正しい
  - (3) ともに正しい
  - (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑨沿岸を走行するときの注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 暗礁あんしやうが存在することが多いので、岩場の海岸では岸から十分離れて走行する。
  - (B) 遠浅の場合があるので、砂浜の海岸では水深に十分注意して走行する。
- (1) (A)のみ正しい
  - (2) (B)のみ正しい
  - (3) ともに正しい
  - (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑩複数の水上オートバイでツーリングをする場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) あらかじめ、全ての艇が走行ルートを確認しておく。
- (2) 水域に詳しい者や、経験豊富な者が先導役をすとよい。
- (3) 先行する艇が急に速力を落としても、安全に停止できるような間隔をあける。
- (4) 周囲の安全確認は先頭の艇にまかせ、後ろの艇は隊列を乱さないことに集中する。

.....答 (4)

⑪河川を走行する場合の一般的な注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 台風や大雨のあとには浮遊物が多いので、十分注意して走行する。
  - (B) 河川のわん曲部では、外側は深く、内側は浅くなっている場合が多い。
- (1) (A)のみ正しい
  - (2) (B)のみ正しい
  - (3) ともに正しい
  - (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑫複数の水上オートバイでツーリングをする場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 出発する前に先導役や走行順を決めておき、出発後は同行艇を確認しながら走行する。
- (2) 先行する艇は、まわりよりも後ろの艇の動きに気をつけて走行する。
- (3) 周囲の安全確認は先頭の艇にまかせ、後ろの艇は隊列を乱さないことに集中する。
- (4) 先行する艇を追走するときは、前の艇との間隔をあけないですぐ後ろを走行する。

.....答 (1)

⑬複数の水上オートバイでツーリングをする場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 互いに近づきすぎないように注意する。
- (2) スピードを出しすぎないように注意する。
- (3) 河川では、横一列に並んで走行する。
- (4) 追走するときは、前の艇と十分な間隔をあけて走行する。

.....答 (3)

⑭走行時の一般的な注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 直進するときは、できるだけ遠くの目標を選び、それに向かって走行する。
- (2) 前方に2つの重なる物標があれば、それを直進や変針の目標として利用する。
- (3) まわりに障害物がないことを確認してから変針する。
- (4) 旋回するときは、一気にハンドルを切り素早く行う。

.....答 (4)

⑮河川を走行する場合の一般的な注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 河口では、潮の干満の影響を受け、水位が変わったり流れが逆になったりする場合がある。
- (B) まわりの水面よりも細かい波が立っている場所は、水深が浅くなっている場合がある。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑯複数の水上オートバイでツーリングをする場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 先行する艇は、まわりよりも後ろの艇の動きに気をつけて走行する。
- (2) 予備燃料を準備し、給油や休憩ができる施設を事前に確認しておく。
- (3) 水域に詳しい人や経験の豊富な人に先導役をしてもらう。
- (4) 縦に並んで走行するときは、前の艇と十分な間隔をあけて走行する。

.....答 (1)

⑰走行時の一般的な注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 船首目標を決め、その目標に向かって走行すると、進路を保ちやすい。
- (2) 直進時に船首目標を決めるときは、遠くではなく、なるべく近くにあるものを選ぶ。
- (3) 陸近くを航行するときは、気付かないうちに岸に近寄ってしまうことがあるので注意する。
- (4) 前方にある2つの重なった目標を利用すると、進路のずれが分かりやすい。

.....答 (2)

**問 31 浮標式**

①標体の塗色が黄色である浮標は、次のうちどれか。

- (1) 右舷浮標 (2) 左舷浮標 (3) 孤立障害浮標 (4) 特殊浮標

.....答 (4)

②左舷標識のトップマークの形状及び塗色は、次のうちどれか。ただし、赤、緑、黒は塗色を表す。

- (1)  赤
- (2)  緑
- (3)  黒
- (4)  黒

.....答 (2)

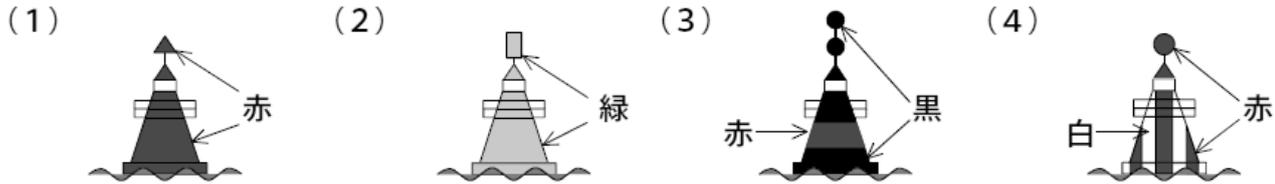
③南方位標識は、その標識のどちら側に可航水域があることを示すか。次のうちから選べ。

- (1) 水源 (2) 海口 (3) 南 (4) 北

.....答 (3)

④下図に示す灯浮標のうち、入港するとき、その灯浮標の右側に岩礁、浅瀬、沈船等の障害物があることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。



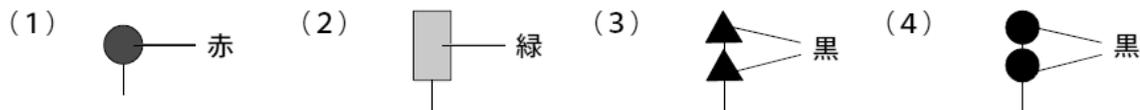
.....答 (1)

⑤標体の塗色が緑色である浮標は、次のうちどれか。

- (1) 右舷浮標 (2) 左舷浮標 (3) 孤立障害浮標 (4) 安全水域浮標

.....答 (2)

⑥安全水域標識のトップマークの形状及び塗色は、次のうちどれか。ただし、赤、緑、黒は塗色を表す。



.....答 (1)

⑦下図に示す灯浮標のうち、出港するとき、その灯浮標の右側に岩礁、浅瀬、沈船等の障害物があることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。



.....答 (2)

⑧標体の塗色が赤色である浮標は、次のうちどれか。

- (1) 右舷浮標 (2) 左舷浮標 (3) 孤立障害浮標 (4) 特殊浮標

.....答 (1)

⑨右図に示す標識は、次のうちどれか。

ただし、赤は標体の塗色を示す。

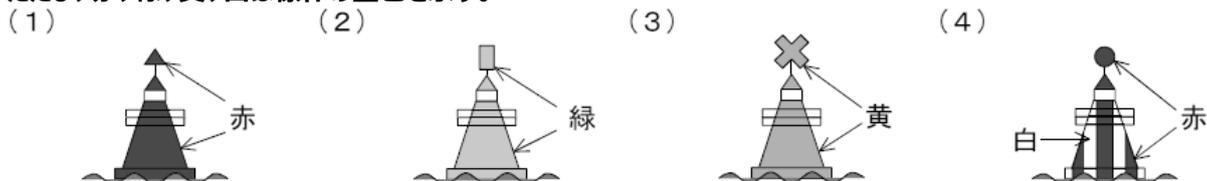
- (1) 右舷標識 (2) 左舷標識  
(3) 孤立障害標識 (4) 特殊標識



.....答 (1)

⑩下図に示す標識のうち、標識の位置が工事区域等の特別な区域の境界であることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黄、白は標体の塗色を示す。

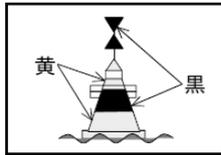


.....答 (3)

⑪ 右図に示す標識は、次のうちどれか。

ただし、黄、黒は標体の塗色を表す。

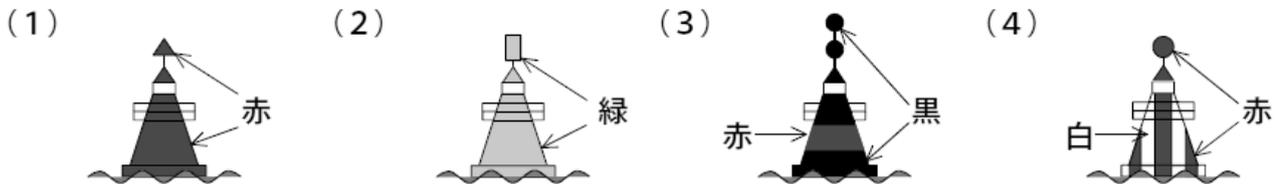
- (1) 北方位標識 (2) 東方位標識  
(3) 南方位標識 (4) 西方位標識



.....答 (4)

⑫ 下図に示す灯浮標のうち、出港するとき、その灯浮標の左側に岩礁、浅瀬、沈船等の障害物があることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。



.....答 (1)

⑬ 下図に示す灯浮標のうち、標識の位置またはその付近に孤立して障害物があることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。

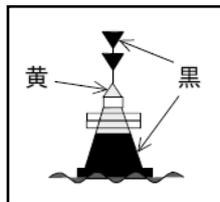


.....答 (3)

⑭ 右図に示す標識は、次のうちどれか。

ただし、黄、黒は標体の塗色を表す。

- (1) 北方位標識 (2) 東方位標識  
(3) 南方位標識 (4) 西方位標識



.....答 (3)

⑮ 下図に示す灯浮標のうち、標識の西側に可航水域があることを示すものはどれか。

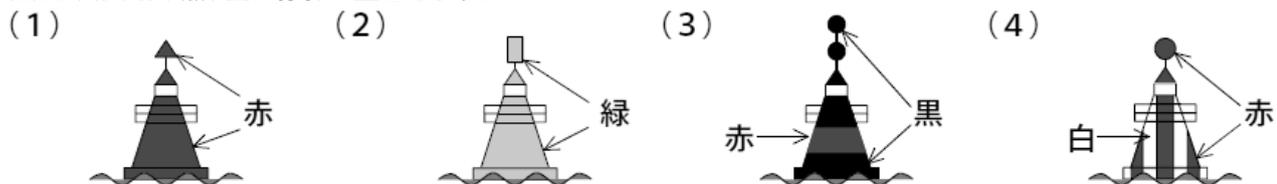
ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。



.....答 (1)

⑯ 下図に示す灯浮標のうち、入港するとき、その灯浮標の左側に岩礁、浅瀬、沈船などの障害物があることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。

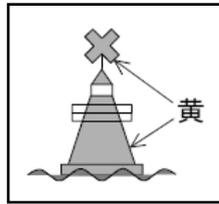


.....答 (2)

⑰右図に示す標識は、次のうちどれか。

ただし、黄は標体の塗色を表す。

- (1) 右舷標識 (2) 特殊標識  
(3) 左舷標識 (4) 孤立障害標識



.....答 (2)

⑱下図に示す灯浮標のうち、入港するとき、その灯浮標の右側に岩礁、浅瀬、沈船などの障害物があることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。

- (1) (2) (3) (4)

.....答 (1)

⑲下図に示す標識のうち、標識の東側に可航水域があることを示すものはどれか。ただし、黄、黒は標体の塗色を示す。

- (1) (2) (3) (4)

.....答 (3)

⑳下図に示す標識のうち、標識の北側に可航水域があることを示すものはどれか。ただし、黄、黒は標体の塗色を示す。

- (1) (2) (3) (4)

.....答 (2)

**問 32 海図**

①海図図式「 M 」 (底質) の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 砂 (2) 石 (3) 泥 (4) 岩

.....答 (3)

②海図に記載されている水深の基準となる水面として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 最高水面 (2) 平均水面 (3) 最低水面 (4) 中間水面

.....答 (3)

③海図図式「 S 」 (底質) の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 砂 (2) 石 (3) 泥 (4) 岩

.....答 (1)

④海図図式「 Sh 」 (底質) の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 砂 (2) 石 (3) 貝殻 (4) 岩

.....答 (3)

⑤海図図式「 R 」 (底質) の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 砂 (2) 石 (3) 泥 (4) 岩

.....答 (4)

⑥緯度1分は何海里か。次のうちから選べ。

- (1) 1海里 (2) 10海里 (3) 60海里 (4) 100海里

.....答 (1)

⑦20ノットとは、1時間に何キロメートル(km)走行する速力をいうか。次のうちから選べ。

- (1) 約18km (2) 約25km (3) 約37km (4) 約55km

.....答 (3)

※ $20 \times 1.852 \div 37.04$

⑧1海里は何メートル(m)か。次のうちから選べ。

- (1) 910m (2) 1,000m (3) 1,609m (4) 1,852m

.....答 (4)

⑨次の海国図式のうち、「暗岩」を表すものはどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

.....答 (4)

⑩次の海国図式のうち、「洗岩」を表すものはどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

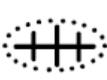
.....答 (3)

⑪次の海国図式のうち、「干出岩」<sup>かんしゅつがん</sup>を表すものはどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

.....答 (1)

⑫次の海国図式のうち、「暗岩」を表すものはどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

.....答 (4)

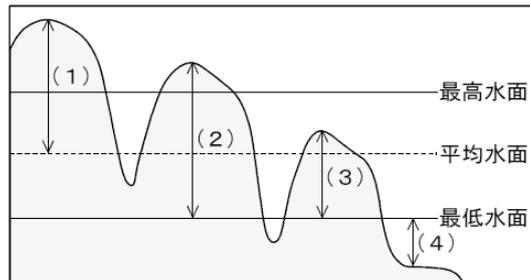
⑬干出岩<sup>かんしゅつがん</sup>とは、どのようなものをいうか。次のうちから選べ。

- (1) 最低水面で水面上に現れる岩 (2) 最低水面とほぼ同じ高さの岩  
(3) 最低水面で水面下に隠れる岩 (4) 最高水面で水面上に現れる岩

.....答 (1)

⑭海図に記された高さや水深の基準面を示した右図のうち、誤っているものはどれか。

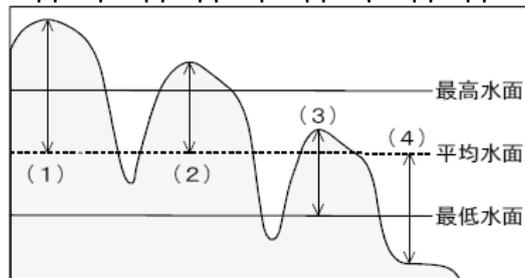
- (1) 山の高さ  
(2) 島の高さ  
(3) 干出の高さ<sup>かんしゅつ</sup>  
(4) 水深



.....答 (2)

⑮海図に記された高さや水深の基準面を示した右図のうち、誤っているものはどれか。

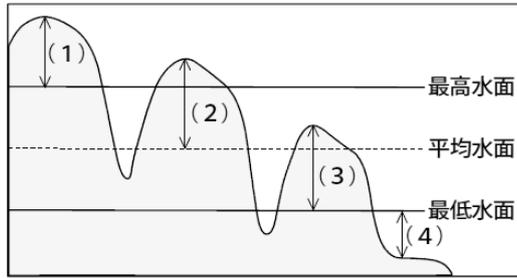
- (1) 山の高さ  
(2) 島の高さ  
(3) 干出の高さ<sup>かんしゅつ</sup>  
(4) 水深



.....答 (4)

⑯海図に記された高さや水深の基準面を示した右図のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 山の高さ
- (2) 島の高さ
- (3) 干出の高さ
- (4) 水深



.....答 (1)

⑰海図に記載されている海岸線は、どの水面における海と陸との境界を示したものか。次のうちから選べ。

- (1) 最高水面 (2) 平均水面 (3) 最低水面 (4) 中間水面

.....答 (1)

⑱ヨット・モーターボート用参考図では知ることができないものは、次のうちどれか。

- (1) 目的地までの距離 (2) 予定針路上の危険物の存在
- (3) 海峡通過時の潮流の流向 (4) 停泊予定地の水深

.....答 (3)

**問 33 発航前の点検**

①発航前に行う点検事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) ジェットインテークやジェットノズルに異物がからみ付いていないことを確認する。
- (B) エンジンルーム内にビルジがなく、ドレンプラグが開いていることを確認する。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (1)

②発航前の潤滑油系統の点検事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) エンジンオイルの量が適正であること
- (2) エンジンオイルの給油口が閉じていること
- (3) エンジンオイルが汚れていないこと
- (4) 数種類のエンジンオイルが適正に混合されていること

.....答 (4)

③陸上で燃料を給油する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) エンジンを停止した状態で行う。 (2) 艇体を水平にした状態で特う。
- (3) ゴミや水分が入らないようにする。 (4) ガソリンと軽油を適度に混ぜて補給する。

.....答 (4)

④発航前のバッテリーの点検について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ターミナルが確実に外れていることを確認する。
- (2) バッテリー液が規定量入っていることを確認する。
- (3) 本体が確実に固定されていることを確認する。
- (4) バッテリー液の比重が規定値であることを確認する。

.....答 (1)

⑤エンジン始動時の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 水上に降ろす前にまず陸上で試運転を行い、異常がないことを確認する。
- (2) 水上でエンジンを始動してから、緊急エンジン停止コードを体の一部に取り付ける。
- (3) エンジンがかかりづらいつきでも、スロットル全開で始動しないようにする。
- (4) 始動後、冷却水点検孔から冷却水が排出されていることを確認する。

.....答 (2)

⑥水上でエンジンを始動した後に確認した次の事項のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 排気は無色で異臭がしない。 (2) 冷却水点検孔から冷却水が排出されている。  
(3) ハンドルがロックして左右に動かない。 (4) 異常な振動や音が発生していない。

.....答 (3)

⑦発航前の艇体の点検について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ドレンプラグが開いていることを確認する。  
(2) ハルやデッキの全周にわたり、傷や割れがないことを確認する。  
(3) ハンドルバーやスロットルレバーが、なめらかに動くことを確認する。  
(4) ジェットインテークにゴミがからまっていないことを確認する。

.....答 (1)

⑧発航前に行う点検事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) ハンドルバーやスロットルレバーなどの可動部が、なめらかに動くことを確認する。  
(B) ジェットインテークやジェットノズルなどに、ゴミがからみ付いていないことを確認する。  
(1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑨発航前に行う点検事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 水上に降ろす前に、ドレンプラグが確実に開いていることを確認する。  
(B) シートやハッチなどの開口部が、確実にロックされていることを確認する。  
(1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (2)

⑩発航前の点検要領として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) スロットルレバーと連動してリバースゲートが作動することを確認する。  
(2) シフトレバーと連動してステアリングノズルが作動することを確認する。  
(3) バッテリーのプラスのターミナルにマイナスのケーブルが接続していることを確認する。  
(4) シートやハッチなどの開口部が閉じられ、確実にロックされていることを確認する。

.....答 (4)

⑪発航前に行う燃料システムの点検について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 燃料タンクキャップを開けてタンク内の圧力が抜けたことを確認する。  
(2) 燃料タンクに最低限必要な量の燃料が入っていることを確認する。  
(3) 燃料フィルターにゴミや水分がたまっていないことを確認する。  
(4) 燃料ホースや燃料ポンプなどに漏れがないことを確認する。

.....答 (2)

⑫発航前に行わなければならない法定備品の点検項目として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 信号紅炎の有効期限 (2) 係船ロープの傷み具合  
(3) 笛などの音響器具の有効期限 (4) ライフジャケットのバックルの状態

.....答 (3)

⑬発航前の点検要領として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) ハンドルバーと連動してステアリングノズルが作動することを確認する。  
(2) シフトレバーと連動してリバースゲートが作動することを確認する。  
(3) バッテリーのプラスのターミナルにマイナスのケーブルが接続していることを確認する。  
(4) シートやハッチなどの開口部が閉じられ、確実にロックされていることを確認する。

.....答 (3)

⑭エンジンの始動要領について述べた次の文の下線部(1)～(4)のうち、適切でないものはどれか。

「シートに座ったら、まず(1)緊急エンジン停止スイッチからコードを外し、(2)シフトレバーを後進の位置にする。まわりの安全を確認した後、(3)スタートボタンを押してエンジンが始動したら、(4)冷却水点検孔からの排水状態を確認する。」

.....答(1)

⑮発航前のバッテリーの点検について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ターミナルが確実に外れていることを確認する。
- (2) バッテリー液が規定量入っていることを確認する。
- (3) 本体が確実に固定されていることを確認する。
- (4) バッテリー液の比重が規定値であることを確認する。

.....答(1)

⑯水上オートバイのエンジン始動時の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 水上に降ろす前にエンジンを始動させ、冷却水を通さず5分程度運転し、音や振動を確認する。
- (2) 緊急エンジン停止コードは、ライフジャケットや手首に装着した後、スイッチ側を取り付ける。
- (3) 急発進事故防止のため、シフト機能が付いている機種は、後進や中立の状態では始動する。
- (4) 始動すると同時に動き出す機種もあるので、ハンドルをしっかり持ち、始動に備える。

.....答(1)

**問 34 使用後の手入れ**

①エンジンの冷却水系統を洗うときの要領について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) エンジンを始動した後、アイドリング状態で運転しながら水道水を5分程度注水する。
- (B) エンジンを停止した後、さらに5分程度注水してから水道水を止める。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答(1)

②エンジンの冷却水系統を洗うときの要領について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 水道ホースを洗浄用冷却水注入口につなぎ、エンジン始動後、直ちに蛇口を開けて注水する。
- (B) 注水したまま、エンジンをアイドリング状態で5分程度運転する。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答(3)

③エンジンの冷却水系統を洗うときの手順として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) エンジンを始動する前に、洗浄用冷却水注入口と水道ホースをつないでおく。
- (2) エンジンを始動した後に、水道の蛇口を開けて注水を始める。
- (3) ある程度注水したら、水道水を止め、エンジンをアイドリング状態で10分程度運転する。
- (4) 洗い終わったら、水道ホースを外し、数回空吹かしをしてからエンジンを停止する。

.....答(3)

④冬季、陸上保管する場合の保守手入れについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ドレンプラグを聞け、船首を少し持ち上げた状態で保管する。
- (2) 冷却水系統を清水で洗い、冷却水路に残った水を完全に抜いておく。
- (3) バッテリーを取り外し、充電してから風通しのよい場所に保管する。
- (4) エンジン各部のホース類を取り外し、ゴム部分に潤滑剤を吹きつけておく。

.....答(4)

⑤エンジンの冷却水系統を洗うときの要領について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) エンジンを始動する前に、十分に水道水を注水しておく。
- (B) ある程度注水したら水道水を止め、エンジンをアイドリング状態で5分程度運転する。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答(4)

⑥海水域で使用した後の上架手入れについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 艇体全体、特に可動部分を清水で念入りに洗う。
- (2) ジェットノズルやジェットインテークの内部を清水で洗う。
- (3) エンジンを始動し、冷却水系統に清水を通して洗う。
- (4) 燃料系統に清水を通して洗い、十分に乾燥させる。

.....答 (4)

⑦海水域で使用した水上オートバイを清水で洗う理由として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) FRP製の艇体が溶けるのを防ぐため
- (2) インペラが劣化するのを防ぐため
- (3) 冷却水系統に塩分が詰まるのを防ぐため
- (4) 金属部分が腐食するのを防ぐため

.....答 (1)

⑧エンジンの冷却水系統を洗うときの手順について述べた次の組合せのうち、適切なものはどれか。

	洗い始めるとき	洗い終わったとき
(1)	エンジンを始動した後、水道水を流す。	エンジンを停止した後、水道水を止める。
(2)	エンジンを始動した後、水道水を流す。	水道水を止めた後、エンジンを停止する。
(3)	水道水を流した後、エンジンを始動する。	エンジンを停止した後、水道水を止める。
(4)	水道水を流した後、エンジンを始動する。	水道水を止めた後、エンジンを停止する。

.....答 (2)

⑨海水域で使用した後の保守手入れについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 船尾のドレンプラグを開けて、船内にたまっているビルジや砂を排出する。
- (2) 艇体を洗いながら、割れやへこみなどの損傷がないことを確認する。
- (3) ジェットインテークやジェットノズル内にゴミや異物がないことを確認する。
- (4) 艇体を清水で洗った後、乾いた布にシンナーを含ませて水分を十分にふき取る。

.....答 (4)

⑩水上オートバイの冷却水系統を洗うときの要領について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 洗うときは、十分に水道水を注水してからエンジンを始動する。
- (B) 洗い終わったらエンジンを止め、さらに数分間注水してから水道水を止める。
- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (4)

⑪水上オートバイの冷却水系統を洗うときの手順について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) エンジンを始動する前に、<sup>せんじょう</sup>洗淨用冷却水注入口に直接水道ホースを差し込むか、接続用アダプターを使用して水道ホースをつないでおく。
- (B) 冷却水系統の塩分を十分洗い流した後に水道水を止め、数回空吹きを行い冷却水系統に残った水を排出してからエンジンを止める。
- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑫使用後の手入れについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 海水域で使用した場合は、艇体に残った塩分を清水で洗う。
- (2) ドレンプラグを開けて、船内にたまったビルジを排出する。
- (3) エンジンの冷却水系統を洗う場合は、エンジンを止めた状態で行う。
- (4) バッテリーターミナルからケーブルを取り外しておく。

.....答 (3)

⑬定期的<sup>じゆんかつざい</sup>に潤滑剤などをささなければならない部品として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) スロットルケーブル
- (2) シフトケーブル
- (3) ステアリングケーブル
- (4) 緊急エンジン停止コード

.....答 (4)

⑭水上オートバイの冷却水系統を洗うときの要領について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

(A) エンジンを始動した後、水道水を注水しながらアイドル状態で機種ごとの推奨時間運転する。

(B) エンジンを停止した後、さらに5分程度注水してから水道水を止める。

(1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

..... 答 (1)

**問 35 機関故障の原因及び対策**

①走行中、突然異常な振動が生じた場合、その原因として考えられるものは、次のうちどれか。

- (1) スターターモーターが故障した。 (2) バッテリーが上がった。  
(3) インペラにゴミがからんだ。 (4) ビルジが大量にたまった。

..... 答 (3)

②走行中、ジェットインテークにゴミが詰まった場合、そのゴミを取り除く方法として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 低速、高速を繰り返し、速度差を利用して取り除く。  
(2) 左右の急旋回を何度も行い、遠心力で取り除く。  
(3) 前進、後進を繰り返し、インペラを反転させて取り除く。  
(4) エンジンを止めて水中に入り、手を伸ばして取り除く。

..... 答 (4)

③ドライブシャフトにゴミなどが巻き付いた場合に起こる現象やその対処について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 激しい振動や、スロットルを聞いてもスピードが出ないなど、走行状態に異常が表れる。  
(2) ほとんどの場合、スロットルを大きく開けることで取り除くことができる。  
(3) 取り除けない場合、走行できるようであれば、低速で帰港するか、近くの岸に着ける。  
(4) 無理に走行したり、そのまま放置すると、エンジンが停止して走行できなくなるおそれがある。

..... 答 (2)

④エンジンを始動しようとしたところ、スターターモーターが作動しなかった。この場合に考えられる原因は、次のうちどれか。

- (1) 燃料フィルターに水がたまっている。 (2) 緊急エンジン停止コードが外れている。  
(3) 点火プラグが汚れている。 (4) 燃料タンクが空になっている。

..... 答 (2)

⑤走行中、エンジンから聞き慣れない音がした場合に最初に取りべき処置は、次のうちどれか。

- (1) 緊急エンジン停止コードを抜く。 (2) エンジンの回転数を下げる。  
(3) ストップボタンを押す。 (4) シフトを後進に入れる。

..... 答 (2)

⑥走行中、エンジンが突然停止する原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 燃料がなくなった。 (2) キルスイッチからコードが外れた。  
(3) エンジンが焼き付いた。 (4) リバースゲートが壊れた。

..... 答 (4)

⑦走行中、突然エンジンが異音を発した場合、その原因として考えられるものは、次のうちどれか。

- (1) バッテリーターミナルのゆるみ (2) 冷却水点検孔の詰まり  
(3) ドレンプラグのゆるみ (4) ジェットインテークの詰まり

..... 答 (4)

⑧走行中、エンジンの回転数が不規則に変動する原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 燃料にゴミや水分が混ざっている。 (2) ジェットインテークから水を吸い込んでいる。  
(3) 点火プラグが汚れている。 (4) 点火プラグキャップがゆるんでいる。

..... 答 (2)

⑨走行中、エンジンが突然停止した場合の原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 緊急エンジン停止コードが外れた。 (2) 燃料を使い切った。  
(3) スターターモーターが故障した。 (4) エンジンが焼き付いた。

..... 答 (3)

⑩スターターモーターが作動せず、エンジンが始動しない原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 燃料フィルターに水がたまっている。 (2) 緊急エンジン停止コードが外れている。  
(3) バッテリーのターミナルが外れている。 (4) バッテリーが上がっている。

.....答 (1)

⑪走行中、エンジンがオーバーヒートしているときに見られる現象として適切でないものは、次のうちどれか。

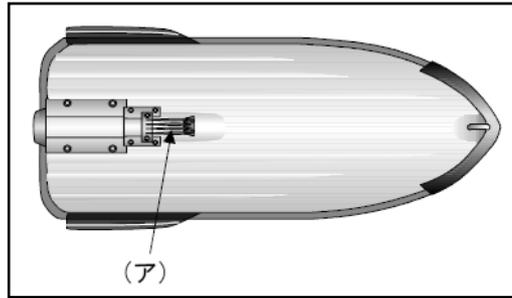
- (1) 警告ブザーが鳴ったり警告ランプがついたりする。  
(2) エンジンから焦げ臭いにおいがする。  
(3) 燃料計の表示が E (エンプティ)を示す。  
(4) 冷却水点検孔からの排出水量が極端に減る。

.....答 (3)

⑫右図は、水上オートバイを船底側から見た略図である。

図中(ア)にゴミや藻などの異物がからまったり、(ア)から異物を吸い込んだりした場合に起こりうる現象として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) バッテリーが上がる。  
(2) オーバーヒートする。  
(3) 推進力が低下する。  
(4) インペラが破損する。



.....答 (1)

⑬走行中、突然推進力が低下する原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) インペラに異物があたり、一部が破損した。  
(2) ドライブシャフトに異物がからんだ。  
(3) ジェットインテークに異物が詰まった。  
(4) 冷却水点検孔に異物が詰まった。

.....答 (4)

⑭エンジンが始動しない場合の点検箇所として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) スターターモーターは作動するがエンジンが始動しないときは、燃料油量を点検する。  
(2) スターターモーターは作動するがエンジンが始動しないときは、点火プラグの汚れを点検する。  
(3) スターターモーターが作動しないときは、エンジンオイルの汚れを点検する。  
(4) スターターモーターが作動しないときは、緊急エンジン停止コードの取付け状態を点検する。

.....答 (3)

⑮エンジンを始動しようとしたところ、スターターモーターが作動しなかった。この場合に考えられる原因として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 燃料フィルターに水がたまっている。 (2) 緊急エンジン停止コードが外れている。  
(3) 点火プラグが汚れている。 (4) 燃料タンクが空になっている。

.....答 (2)

⑯走行中、突然エンジンが異音を発した場合、その原因として考えられるものは、次のうちどれか。

- (1) バッテリーターミナルのゆるみ (2) 冷却水点検孔の詰まり  
(3) ドレンプラグのゆるみ (4) ジェットインテークの詰まり

.....答 (4)

⑰エンジンにガソリンが供給されていない場合は何を点検したらよいか。次のうちから選べ。

- (1) エンジンオイルの粘度 (2) バッテリーターミナルの接続  
(3) 燃料タンク内の残量 (4) 点火プラグの締付け

.....答 (3)

問 36 天気図記号

①「くもり」を表す天気記号(日本式)は、次のうちどれか。

- (1) ● (2) ⊙ (3) ⊕ (4) ⊗

.....答 (2)

②天気記号(日本式)とその天気を示した次の組合せのうち、誤っているものはどれか。

- (1) ○ … 快 晴 (2) ⊗ … 雪 (3) ⊕ … くもり (4) ● … 雨

.....答 (3)

③天気記号(日本式)「●」の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 晴れ (2) くもり (3) 雨 (4) 雪

.....答 (3)

④「温暖前線」を表す記号は、次のうちどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

.....答 (4)

⑤天気記号(日本式)「⊗」の表すものは次のうちどれか。

- (1) 晴れ (2) くもり (3) 雨 (4) 雪

.....答 (4)

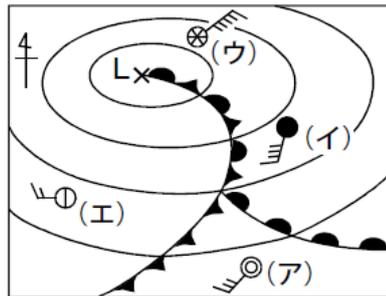
⑥地上天気図の記号「」の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 温暖前線 (2) 寒冷前線 (3) 停滞前線 (4) 閉塞前線

.....答 (2)

⑦右図は、日本付近に現れる地上天気図の一部を示したものである。風が最も強い地点は、図中(ア)～(エ)のうちどれか。

- (1) (ア)  
(2) (イ)  
(3) (ウ)  
(4) (エ)



.....答 (3)

⑧地上天気図の記号「」の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 温暖前線 (2) 寒冷前線 (3) 停滞前線 (4) 閉塞前線

.....答 (1)

⑨「霧」を表す天気記号(日本式)は、次のうちどれか。

- (1) ● (2) ⊙ (3) ⊕ (4) ⊗

.....答 (2)

⑩「寒冷前線」を表す記号は、次のうちどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

.....答 (3)

⑪天気記号(日本式)「⊙」の表すものは次のうちどれか。

- (1) 晴れ (2) 霧 (3) 雨 (4) 雪

.....答 (2)

⑫天気記号(日本式)「⊕」の表すものは次のうちどれか。

- (1) 晴れ (2) くもり (3) 雨 (4) 雪

.....答 (1)

⑫「晴れ」を表す天気記号(日本式)は、次のうちどれか。

- (1) ● (2) ⊙ (3) ⊕ (4) ⊗

.....答 (3)

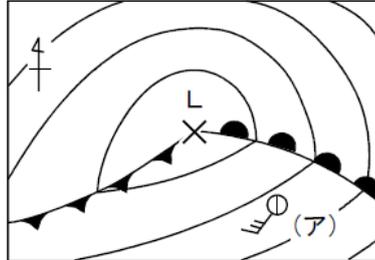
⑬天気記号(日本式)とその天気を示した次の組合せのうち、誤っているものはどれか。

- (1) ○ … 快 晴 (2) ⊗ … 雪 (3) ● … 雨 (4) ⊕ … くもり

.....答 (4)

⑭右図は、日本付近に現れる地上天気図の一部を示したものである。図中(ア)地点の風向と天気は、次のうちどれか。

- (1) 北 東 くもり  
(2) 北 東 晴れ  
(3) 南 西 晴れ  
(4) 南 西 くもり



.....答 (3)

⑮「雨」を表す天気記号(日本式)は、次のうちどれか。

- (1) ● (2) ⊙ (3) ⊕ (4) ⊗

.....答 (1)

**問 37 海陸風・前線**

①海陸風について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) よく晴れた夏の日の沿岸部で吹くことが多い。  
(2) 陸風と海風が入れ替わる時は、ほぼ無風状態となる。  
(3) 日中と夜間における海と陸の温度差が原因である。  
(4) 日中は陸から海へ、夜間は海から陸に向かって吹く。

.....答 (4)

②風速について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として適切なものは、下のうちどれか。

「風速は1秒間に空気の移動する距離をメートル毎秒で表すが、風速は絶えず変化するので、通常は観測時前( )の平均風速で表されている。」

- (1) 10秒間 (2) 1分間 (3) 10分間 (4) 1時間

.....答 (3)

③寒冷前線が遭遇するときに生じる気象現象として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 突風が吹くことが多い。 (2) 風向が南寄りから西寄りに急変する。  
(3) にわか雨が降る。 (4) 通過後は気温が急激に上がる。

.....答 (4)

④突風や雷雨をともなう雲は、次のうちどれか。

- (1) 巻雲 (2) 層雲 (3) 高積雲 (4) 積乱雲

.....答 (4)

⑤気温と風の関係について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 気温が上昇すると、周囲から風が吹いてくる。  
(2) 昼間は陸上より海上の気温が高くなり、陸風が吹く。  
(3) 2地点間に気温の差が生じると、気圧差が生じて風が吹く。  
(4) 2地点間の気温差が大きいほど強い風が吹く。

.....答 (2)

⑥海岸付近を走行する場合の注意事項について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として適当なものは、下のうちどれか。

「夏から秋にかけて太平洋に面した海岸に押し寄せる( )は、南方洋上で発達した台風によるうねりが、台風よりも早く太平洋岸に到達するもので、海辺に風がなくても波が高いことがあるため、洋上に台風が発生した場合は注意が必要である。」

- (1) 磯波 (2) 津波 (3) 三角波 (4) 土用波

..... 答 (4)

⑦風について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風は、気圧の高い所から低い所へ向かって吹く。  
(2) 陸から海へ向かって吹く風は、沖に行くほど弱くなる。  
(3) 風向は、風の吹いて来る方向で表す。  
(4) 風速は、通常、1秒間に空気が移動する距離をメートル毎秒で表す。

..... 答 (2)

⑧冬期、本州付近における季節風の一般的な風向は、次のうちどれか。

- (1) 北東 (2) 北西 (3) 南東 (4) 南西

..... 答 (2)

⑨突風や雷雨をともなうことが多い前線は、次のうちどれか。

- (1) 温暖前線 (2) 停滞前線 (3) 閉塞前線 (4) 寒冷前線

..... 答 (4)

⑩地形と風について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 地形の影響を受けて吹くその土地特有の風を、局地風という。  
(2) 山から吹き下ろした風は、海岸では強く、沖に行くほど弱くなる。  
(3) 山間の谷間を吹き抜ける風は、特に谷間の出口で強くなる。  
(4) その土地特有の風は、地元では固有の名称で呼ばれることが多い。

..... 答 (2)

⑪風について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風は、気圧の高い所から低い所へ向かって吹く。  
(2) 風向は、風の吹いていく方向で表す。  
(3) 風速は、通常、10分間の平均風速で表す。  
(4) 風速は、通常、1秒間に空気が移動する距離をメートル毎秒で表す。

..... 答 (2)

⑫夏期、本州付近における季節風の一般的な風向は、次のうちどれか。

- (1) 東寄り (2) 西寄り (3) 南寄り (4) 北寄り

..... 答 (3)

⑬風について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 風は、気圧の高い所から低い所へ向かって吹く。  
(2) 一般に、陸上よりも海上の方が風は強い。  
(3) 風向は、風の吹いて来る方向で表す。  
(4) 風速は、通常、1分間に空気が移動する距離で表す。

..... 答 (4)

**問 38 潮汐及び潮流**

①次の月の見え方のうち、潮の干満差が最も大きくなるのはどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

..... 答 (4)

②潮流について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 潮流の流向は、流れて行く方向を示す。
- (2) 潮流は、干満差の小さい所よりも大きい所の方が強い。
- (3) 潮流の流速は、月の満ち欠けによって推測することができる。
- (4) 潮流は、海峡や水道よりも沖合の方が強い。

.....答 (4)

③ちようせき潮汐について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 潮汐により、海面が最も高くなった状態を満潮、最も低くなった状態を干潮という。
- (B) 満潮から干潮までの間を下げ潮といい、このときの潮流は、岸から沖へ向かう流れとなる。
- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

④ちようせき潮汐及び潮流について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 沖合での潮の干満は、水面を見ただけでは判断できない。
- (2) 春の新月又は満月の頃は、干満の差が大きい。
- (3) 潮流は大洋では弱く、わんごう湾口や水道などでは強い。
- (4) 潮流の流向が北のとき、北風が強く吹くと流速はいつそう速くなる。

.....答 (4)

⑤西から東の方向へ流れて行く潮流は、次のうちどれか。

- (1) 東西流 (2) 西東流 (3) 東流 (4) 西流

.....答 (3)

⑥ちようせき潮汐について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 初めて入港する港でも、主要な港の潮時や潮高ならば、潮汐表で調べることができる。
- (B) 潮汐についての情報は、地元のマリーナやインターネットでも入手することができる。
- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑦潮の干満に対する注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 満潮時には走行できる水域でも、干潮時には干上がって走行できなくなることがある。
- (2) 上げ潮時には、干潮時に砂浜に置いた水上オートバイが目離れたすきに流されることがある。
- (3) 干潮時には、満潮時に短いロープで岸壁に係留した水上オートバイが宙づりになることがある。
- (4) 下げ潮が最も強い時間帯には、河口付近の川の流れがゆるやかになって走りやすくなることがある。

.....答 (4)

⑧ちようせき潮汐について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として適切なものは、下のうちどれか。

「潮汐を起こす主な力は天体の引力によるもので、その天体は( )と太陽である。」

- (1) 地球 (2) 水星 (3) 金星 (4) 月

.....答 (4)

⑨ちようせき潮汐について述べた次の文の( )の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「潮汐とは、月と太陽の引力作用により、海面が上下する動きをいい、満潮から次の満潮までの周期は、一般に約( )である。」

- (1) 4時間 (2) 6時間 (3) 8時間 (4) 12時間

.....答 (2)

⑩潮流について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 潮流は、干満差の大きい所よりも小さい所の方が強い。
- (2) 潮流の流向は、流れて行く方向を示す。
- (3) 満潮にともなう流れを下げ潮流、干潮にともなう流れを上げ潮流という。
- (4) 下げ潮流、上げ潮流になる時間帯は、全国ほぼ同じである。

.....答 (2)

⑪ <sup>ちようせき</sup>潮汐について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 潮汐により、海面が最も高くなった状態を満潮という。  
(B) 沿岸では、潮汐にともなう潮流の影響によって、沖の方へ流されることがある。  
(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

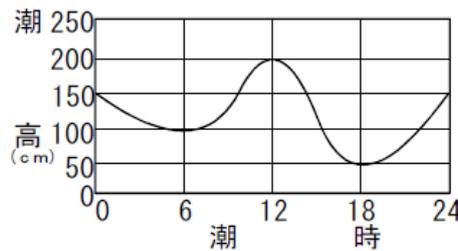
⑫ <sup>ちようせき</sup>潮汐について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 潮汐は、月と太陽の引力作用によって起こる。  
(2) 満潮や干潮は、通常、1日に1回ずつ起こる。  
(3) 満潮や干潮になる時刻は、日本全国ほぼ同じである。  
(4) 満月や新月の頃は、干満の差が最も小さい。

.....答 (1)

⑬ 右図は、ある港における、ある日の<sup>ちようせき</sup>潮汐を示したものである。この日、潮高が最も高くなる時刻は、次のうちどれか。

- (1) 00時00分頃 (2) 06時00分頃  
(3) 12時00分頃 (4) 18時00分頃



.....答 (3)

⑭ 潮汐及び潮流について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 沖合での潮の干満は、水面を見ただけでは判断できない。  
(2) 春の新月又は満月の頃は、干満の差が大きい。  
(3) 潮流は大洋では弱く、海峡や水道などでは強い。  
(4) 潮流の流向が北のとき、北風が強くと流速はいつそう速くなる。

.....答 (4)

⑮ 潮汐について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 潮汐により海面が最も高くなった状態を満潮、最も低くなった状態を干潮という。  
(B) 干潮から満潮までの間を上げ潮といい、これにともなう潮流を上げ潮流という。  
(1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

**問 39 事故防止・事故発生時の処置**

① 走行中、他船と衝突した場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 直ちにエンジンを止めて、人命の安全確保に努める。  
(2) 艇体に食い込んでいる場合は、両船を引き離してから艇体の損傷や浸水の状態を確認する。  
(3) 負傷者がいたり走行ができない場合は、すみやかに救助を要請する。  
(4) 艇体の損傷が少なくても、お互いの住所、氏名、連絡先などを確認する。

.....答 (2)

② 走行中、他船と衝突した場合の処置として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 再始動できなくなるおそれがあるので、エンジンは停止しない。  
(2) 破口から一気に浸水するおそれがあるので、すぐには両船を引き離さない。  
(3) 負傷者がいたり、走行ができない場合であっても、気安く救助を要請しない。  
(4) 救助を要請した場合であっても、その地点にいつまでもとどまらない。

.....答 (2)

③浸水による機関故障事故の防止対策として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 乗艇前にハッチの閉まり具合やシートの取付け状態を確認する。
- (2) 走行中は定期的にハッチやシートを開け、浸水がないかどうかを確認する。
- (3) 転覆状態から艇体を復原する場合には、引き出しの方向を確認する。
- (4) 格納時にハッチやエンジンカバーのパッキンの状態を確認する。

.....答 (2)

④走行中、エンジンルーム内に多量の水が入ってきた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 中高速でしばらく直進走行し、自動排水機能により強制的に排出する。
- (2) 船体に穴が聞いている場合は、応急処置をしてできるだけ早く帰港する。
- (3) エンジンを停止し、ドレンプラグを開けて直ちに排水する。
- (4) 排水作業が間に合わない場合には、平らな砂地を選んで乗り揚げる。

.....答 (3)

⑤走行中に浅瀬に乗り揚げた場合、まず最初にとらなければならない処置として最も適当なものは、次のうちどれか。

- (1) 直ちに後進して引き離す。
- (2) 降りて手で押して離礁する。
- (3) エンジンを停止する。
- (4) 救助を求める。

.....答 (3)

⑥走行中、エンジンに異常を感じた場合の処置として適当なものは、次のうちどれか。

- (1) すみやかにスロットルを閉じ、エンジンの様子を見る。
- (2) エンジンをかけたまま、ジェットインテークを点検する。
- (3) エンジンを停止した後、ドレンプラグをゆるめてみる。
- (4) 走行できるようであれば、フルスロットルで帰港する。

.....答 (1)

⑦走行中、エンジンに異常を感じた場合の処置として適当なものは、次のうちどれか。

- (1) 直ちにエンジンを停止する。
- (2) 安全な場所で停船し、エンジンの始動と停止を繰り返す。
- (3) 走行できるようであれば、速力を上げて帰港する。
- (4) 水上で修理できない場合は、早めに救助を要請する。

.....答 (4)

⑧水上オートバイの衝突事故の原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 見張り不十分
- (2) 操縦不適切
- (3) 過大な速力
- (4) 船位不確認

.....答 (4)

⑨走行中、浅瀬に乗り揚げた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 直ちにエンジンを停止し、艇体の損傷状況を調べる。
- (2) 艇体の損傷が少なく、走行に問題がなければ、手で押して離させる。
- (3) 離礁後、全速力で航行し、損傷の程度やエンジンの状態を確認する。
- (4) 艇体の損傷が激しく走行ができない場合は、すみやかに救助を要請する。

.....答 (3)

⑩走行中、エンジンに異常を感じた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) すみやかにスロットルレバーを戻して減速し、エンジンの様子を見る。
- (2) エンジンルームを開ける場合は、水が入らないように十分注意する。
- (3) エンジンを停止する場合は、状況を見極めたうえで行う。
- (4) 走行できるようであれば、全速力で直ちに帰港する。

.....答 (4)

⑪走行中、エンジンに異常を感じた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 速力を落とし、できるだけエンジンを停止しないようにする。
- (2) エンジンをかけたまま、ジェットインテークを点検する。
- (3) 走行できるようならば、低速で帰港するか、近くの岸に着ける。
- (4) 水上で修理できない場合は、早めに救助を求める。

.....答 (2)

⑫水上オートバイによる海難事故の種類とその防止対策を示した次の組合せのうち、適切でないものはどれか。

- (1) 機関故障 … 水面上の浮遊物を吸い込まないように避けながら走行する。
- (2) 乗 揚 げ … 走行する水域の水深、岩礁や浅瀬の存在などを事前に十分調査しておく。
- (3) 浸 水 … 水上に降ろす前に必ずドレンプラグを開けておく。
- (4) 衝 突 … 前方だけでなく、絶えずまわりをよく見張って走行する。

.....答 (3)

⑬走行中、エンジンに異常を感じた場合の処置として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) エンジンをかけたまま、ジェットインテークを点検する。
- (2) しばらくは速力を上げて走行し、エンジンの様子を見る。
- (3) エンジンを停止する場合は、状況を見極めたうえで行う。
- (4) エンジンを停止した後、ドレンプラグをゆるめてみる。

.....答 (3)

⑭走行中、浅瀬に乗り揚げた場合、最初にとらなければならない処置として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 艇体の損傷状況を調べる。           (2) 船位を確認する。
- (3) エンジンを停止する。               (4) 救助を求める。

.....答 (3)

⑮走行中、他船と衝突した場合の処置として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 再始動できなくなるおそれがあるので、エンジンは停止しない。
- (2) 破口から一気に浸水するおそれがあるので、すぐには両船を引き離さない。
- (3) 負傷者がいたり走行ができない場合であっても、気安く救助を要請しない。
- (4) 救助を要請した場合であっても、その地点にいつまでもとどまらない。

.....答 (2)

**問 40 人命救助・救命設備の取り扱い**

①小型船舶用信号紅炎について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 救助を求めるために使用する。       (2) 点火すると紅色の炎を発する。
- (3) 連続して1分以上炎を発する。       (4) 点火後はすぐに水面に投下する。

.....答 (4)

②水上オートバイを使った人命救助の方法について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 低速で救助すると艇が不安定になるので、高速で一気に救助する。
- (2) 緊急事態なので、まわりの安全確認よりも救助することを優先する。
- (3) 艇体の安定を保つため、要救助者は船尾側から引き上げる。
- (4) 要救助者を引き上げたあとは、すみやかに信号紅炎等の遭難信号を発信する。

.....答 (3)

③救命設備の取扱いについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ライフジャケットを、できるだけ身体に密着させるようにベルトやひもをしっかり締める。
- (2) ライフジャケットは、できるだけ水上オートバイ専用のものを着用する。
- (3) 信号紅炎を積み込んでいても、代わりの備品である携帯電話も持っていくようにする。
- (4) 信号紅炎の燃焼時間は1時間以上あるので、遭難と同時に点火する。

.....答 (4)

④水上オートバイを使った人命救助の方法について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 低速で救助すると艇が不安定になるので、高速で一気に救助する。
- (2) 緊急事態なので、まわりの安全確認よりも救助を優先する。
- (3) 艇体の安定性を考えて、艇の横方向から要救助者を引き上げる。
- (4) 水上では適切な処置が十分にできないので、救助した後はできるだけ早く陸上に向かう。

.....答 (4)

⑤人命救助について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 要救助者の収容時、艇体が傾き転覆する危険があるので、バランスを取りながら救助する。
- (B) 携帯電話等でマリーナや医療機関に連絡を取り、陸上で医師や救急車に待機してもらう。

- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

.....答 (3)

⑥水上オートバイで人命救助を行う方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 要救助者を発見した場合は、風や流れ等の外力の影響を考えて近づく。
- (2) 接近したとき、要救助者に意識がある場合は手を上げさせ、その手をつかんで引き上げる。
- (3) 緊急事態なので、まわりの安全確認よりも救助を優先する。
- (4) 水上では適切な処置が十分にできないので、救助した後はできるだけ早く陸上に向かう。

.....答 (3)

⑦<sup>おぼ</sup>溺れている人を救助する際の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 要救助者にある程度近づいたら、針路を保つことができる最低限の速力にする。
- (2) 救助する際、緊急エンジン停止コードが要救助者にかからないように注意する。
- (3) 要救助者を引き上げるときは、水上オートバイのバランスに気を付ける。
- (4) 救助作業中はまわりの見張りを行わず、要救助者だけに注意を向ける。

.....答 (4)

⑧ライフジャケットを着用するときの注意として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 水上オートバイ専用のものを使用する。 (2) ベルトやひもは、ゆるめに締める。
- (3) 身体に合った大きさのものを選ぶ。 (4) 衣服やウエットスーツの上から着用する。

.....答 (2)

⑨水上オートバイを使った人命救助の方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風向や流向を考慮して、操縦しやすい方向から救助に向かう。
- (2) 要救助者に与える引き波の影響は考えず、素早い救助を心掛ける。
- (3) 艇体が傾き転覆する危険があるので、バランスを取りながら救助する。
- (4) 状況によってはエンジンを停止したうえで、要救助者を引き上げる。

.....答 (2)

⑩走行中、溺れている人を発見して救助する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風向や川の流れなど、外力の影響を考慮して近づく。
- (2) 要救助者の安全に気を配りながら、できるだけ素早く近づく。
- (3) 要救助者の衣類などを、ジェットインテークに吸い込まないように注意する。
- (4) 救助後は、むやみに移動せずその場で待機する。

.....答 (4)

⑪ライフジャケットの着用方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 泳ぐときの邪魔になるので、落水時の衝撃で自然に脱げるようにしておく。
- (2) 身体にできるだけ密着させるように、ベルトやひもをしっかり締める。
- (3) 体格に合った大きさのものをを選び、子供には子供用のものを着用させる。
- (4) 衣服やウエットスーツの上から着用する。

.....答 (1)

⑫要救助者を水上オートバイで救助する際、艇体の安定を考慮した場合どこから収容するのがよいか。次のうちから適切なものを選び。

- (1) 船首側      (2) スロットルレバーのある側
- (3) 船尾側      (4) 緊急エンジン停止コードのある側

.....答 (3)

⑬人命救助の際、船首方向から風波を受けながら要救助者に接近する場合の利点として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) エンジンを止めたまま接近できる。      (2) ライフジャケットを投げやすい。
- (3) 針路を保ちやすい。      (4) 要救助者を確認しやすい。

.....答 (3)

⑭小型船舶用信号紅炎について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 使用するときは、遠くからでも確認できるようにできるだけ高い位置で振りかざす。
- (2) 携帯電話を備えていて法的な積込みの義務がない場合でも、できるだけ持っていく。
- (3) 非常時に十分な役割を果たすように保管方法に注意し、常に有効期間内のものを積み込む。
- (4) 燃焼時間が数十分あるので、早く発見されるように遭難と同時に点火する。

.....答 (4)